

## 別紙

### I. 日影図作図のための真北測定について

- ・真北方向は日影図を作図する際の重要項目です。  
弊社では日影図を作図する際、真北方向の根拠として真北測定結果の添付を求めています。  
皆様のご協力をお願いいたします。

### II. 真北測定の方法について

- ・一般的に行われている真北測定の方法について表示いたします。  
方法1 : 真北測定器(日時計)を利用して計測する方法(TOMIO式 ・ サンビームテスター等)  
方法2 : トータルステーション等(測量機器)で太陽を計測する方法  
方法3 : 世界測地系に基づく国土地理院のシステムを利用し真北を算出する方法  
方法4 : その他科学的根拠に基づく方法

### III. 真北測定結果に表示して頂きたい項目

(方法1又は方法2の場合)

- ①測定点の緯度経度
- ②真北測定の方法
- ③測定日と均時差※1
- ④真太陽時の計算式※1
- ⑤測定した真北方向を図示した図面
  - ・必ず表示して頂きたい項目
  - ・建築計画敷地の道路境界線又は隣地境界線
  - ・真北方向

※1 真北測定の際、真太陽時が必要な場合

#### 真太陽時の計算式

$$t = ts \pm e \pm (L-135^\circ) \div 15^\circ \times 60\text{分}$$

(t)真太陽時 = (ts)中央標準時 ± (e)均時差 ± 経度による時差

L : 測定点の経度

均時差 : その年の理科年表から均時差の値を用いる。又は、その他書籍等で一般化してある均時差の値を用いる。

中央標準時 : 日本では東経135度の平均太陽時 (NTTの時報 一般的に12時を基準に表現することが多い。)

真太陽時 : その日その場所だけで有効な、太陽が真南に来た時を正午とする時間(時計)